

2025年11月28日
東京海上日動火災保険株式会社

「クマ侵入時施設閉鎖対応保険」の提供開始
～クマによる事業者の経済的負担軽減に貢献～

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 城田 宏明、以下「当社」)は、2025年12月より、観光・レジャー施設の敷地内にクマが侵入したことにより施設を閉鎖した場合に、運営事業者が取り消した予約分の営業利益の損失およびクマ対策費用を補償する「クマ侵入時施設閉鎖対応保険」の提供を開始いたします。

1. 背景

2025年11月時点で、全国的にクマの出没件数は過去最多に近い水準で推移しており、人的被害や農作物被害に加え、地域の生活環境や観光産業への影響は深刻化している状況です。政府は「緊急銃猟制度」の新設や捕獲体制の強化など、クマ被害を社会課題として位置づけ、対策を強化しています。

当社では、業界に先駆けて自治体向けに「緊急銃猟時補償費用保険」^{※1}を提供し、緊急銃猟の円滑な実施を支援することで、地域の安全確保に貢献しております。一方、宿泊施設、ゴルフ場、キャンプ場等を運営する事業者においても、クマ侵入による施設閉鎖や安全対策に伴う経済的負担が顕在化しています。

こうした課題を踏まえ、当社は、クマ侵入により事業者に生じる経済的負担を補償する新たな保険商品を開発しました。

^{※1} 2025年7月17日:【国内初】「緊急銃猟時補償費用保険」の開発～クマ出没による人的被害の深刻化に対応～(https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/250717_01.pdf)

2. クマ侵入時施設閉鎖対応保険の概要

本保険では、クマ(ヒグマまたはツキノワグマ)が施設の敷地内に侵入し、施設の運営事業者がその侵入を認識して施設を閉鎖した場合^{※2}に、運営事業者の営業利益の損失およびクマ対策費用を補償します。

(1) 補償項目・内容

補償項目	内容
営業利益の損失	施設閉鎖に伴い、運営事業者が取り消した予約 ^{※3} 分の利益相当額
クマ対策費用	・クマ侵入の再発を防止するための設備を設置するために必要な費用 (例)クマ威嚇装置や簡易電気柵の設置費用等 ・施設再開に向けた安全確保のために必要な費用 (例)クマスプレー購入費用、従業員の通勤手段の変更に必要な費用等

^{※2} クマの侵入が客観的に確認できる場合および運営事業者が施設の閉鎖を公表した場合に限ります。

^{※3} 運営事業者が既に受け付けていた閉鎖期間中の予約に限ります。

(2) 保険の対象となる事業者

予約を基本として利用者を受け入れる観光・レジャー施設を運営する事業者
例:宿泊施設、ゴルフ場、キャンプ場等を運営する事業者

3. 今後について

当社は、本商品の提供を通じて、事業者の安定的な事業運営と地域観光における安全・安心の確保および地方創生に貢献してまいります。

以上